

2020 年度 新大学入試制度

- ・ 英語は 10 程度の民間検定を導入
- ・ 国語と数学は記述式問題を導入-例題-

2020 年度から実施される大学入試改革の全貌が明らかになってきました。大きな変更点は 2 つです。現在のセンター入試が「大学入学共通テスト(仮称)」に変更され、国語と数学に 3 問程度の記述式問題が導入されます。また英語では民間の資格検定が活用されることになります。対象学年は現在の中学 3 年生からです。

高校受験では、三条高校・巻高校の両校が定員削減の初年度生であり、新大学入試制度の 1 期生でもあります。まさに記憶に残る学年ですね。

	今まで	現中 3	募集人数
三条高	定員 280 人	定員 240 人	40 人減
巻高	定員 320 人	定員 280 人	40 人減

以下、日経新聞より抜粋。

文部科学省は、大学入試センター試験に代わって 2020 年度に始める新テスト「大学入学共通テスト(仮称)」の実施方針案と問題例を公表した。国語と数学は記述式問題を 3 問ずつ出題。英語は 20 年度にも共通試験を廃止し、民間の検定・資格試験に移行する。「知識偏重」から脱し、思考力や表現力を測る入試への一歩とする。

大学入試では 1989 年度のセンター試験開始以来、約 30 年ぶりの大きな改革となる。現在の中学 3 年生が高校 3 年生になる 21 年 1 月に初回を実施。英語以外は大学入試センターが作問する。名称はこれまでの「大学入学希望者学力評価テスト」から変えた。

英語は実用英語技能検定(英検)、TOEIC などの民間試験の中から文科省が認定する試験に 20 年度から全面移行する A 案と、23 年度までは共通テストと民間試験の両方またはどちらかを受ける B 案を示した。意見公募などを経て両案のどちらかに絞り、6 月中に実施法案を作成する。

民間試験は高 3 の 4～12 月に 2 回まで受験でき、成績は国際標準に基づき段階別に示す。

同省はすでに 10 前後の試験実施団体と協議。試験の実施頻度や学習指導要領との整合性を調整したうえで、複数の試験を認定する。

現在のセンター試験は全問がマーク式だが、記述式問題を導入する。国語の問題例は景観保全に関する自治体の広報文を題材に意見を最大 120 字で書かせる。数学は三角比を用いて広場の銅像の高さなどを考察させる。記述式の採点は大学が行う案もあったが民間企業などに委託する。従来型のマーク式問題は得点で、記述式は 3～5 段階で評価する。

新テストは入試と高校、大学の教育を一体で変える高大接続改革の柱。政府の教育再生実行会議、中央教育審議会などで約 5 年にわたり議論を重ねてきた。当初目指した年複数回の実施や記述式問題を導入する教科の拡大などは 24 年度以降の実施を改めて検討する。

問題は山積みです。

複数の英語検定を、どうやって公平に評価し、点数化するのか。国語等の記述式回答を複数の採点者がどう公平に評価するのか。制度が馴染むまで、混乱は避けられないでしょうね…。

英語の民間検定については後日に譲るとして、今回は記述式問題を取り上げたいと思います。

最近の若者（特に高校生）はスマホ文化の中で生きています。SNSの世界を覗くと、造語・略語・（私の年代からすると意味不明な）感嘆詞が並んでいます。また、感情表現は視覚に訴えるのがスタンダードらしく、写真や画像（スタンプ）が溢れています。

それはそれで「文明の移行」として受け入れるしかないのですが、同時に想像力や表現力の衰退を危惧します。文字情報は正確性を欠き、「美しい夕暮れ」を伝えるのに苦労します。

その写真を撮り、添付して送る方が正確に伝わるのは確かです。しかし、それを文字で伝えることで培われる書き手の表現力や、読み手の想像力を捨て去るのは…。ましてや感情の動きは画像・映像では伝わりません。自らの泣き顔を自撮りして送信しても、その悲しみは相手に伝わらないでしょう。

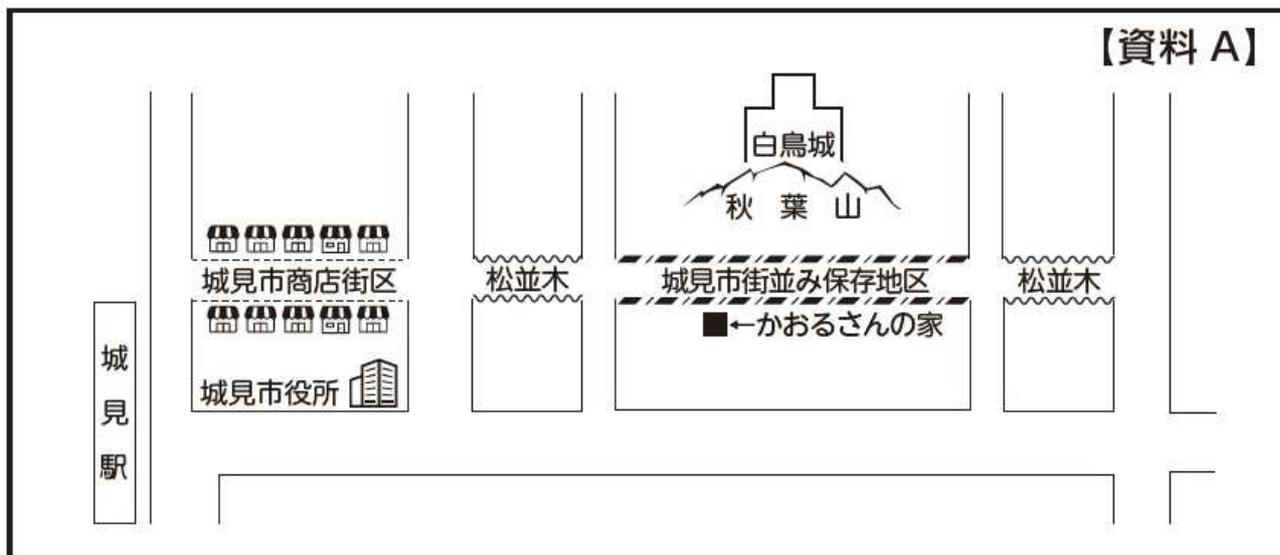
最初に言葉ありき一聖書に記されているように、我々は言葉を通して意思を伝えあうコミュニケーション能力を神から与えられた唯一の生物です。その能力が衰退していくのを見逃すことはできません。

文科省もその危機感を持ったのか、記述式問題の導入に踏み切ることになりました。伝えられている「40 文字～120 文字」で 3 問という中途半端な形ですが、共通試験という性格上、限界があるのはやむを得ないのでしょうか。たとえ入試のためとは言え、それをきっかけとして高校生の記述力が少しでも向上するのは歓迎すべきことだと思います。

ところで、公表された例題を見てみると思いの外、難問が並んでいます。小中学生の頃から記述問題になると思考が停止し、解答欄が空白になるのが珍しくない生徒にとっては厄介です。付け焼刃の対応でどうにかなるものではありません。また、たった 3 問とは言え、他の問題が全てマークシートであることを考えると、この 3 問が合否を左右する重要な要素になることは間違いありません。小中学生時代からの文章力向上に向けて、腰を据えた対応が求められます。

飛燕ゼミとしては、大学入試に対応すべく小学生対象の「記述式問題対策」に特化した学習プログラムを鋭意研究中です。お楽しみに!!

【資料 A】



【資料 B】

城見市「街並み保存地区」景観保護ガイドラインのあらまし

ガイドラインの基本的な考え方

城見市「街並み保存地区」一帯は、市名の由来にもなっている秋葉山山頂に築かれた白鳥城下を通る、旧街道の伝統的な道路遺構と街並みからなります。その街並みと自然とが呼応し、そこに集まる人々によって文化と共に育まれてきたところにその特徴があります。

私達は、「街並み保存地区」に限らず、城見市が育んできた歴史、文化の特質を尊重し、優れた自然と景観に対して十分配慮するとともに、この自然と景観を維持、保全、育成しなければなりません。そのためには、住民、企業、行政など全ての人々が城見市の景観に対するさらなる意識の向上を図り、貴重な財産であることを深く認識し、この美しい景観を将来の世代に引き継ぐ責務を負っているのです。



景観保護の目標

- ア 市役所周辺から商店街区にかけてのにぎわいを連続させるとともに、都市の顔として風格のある空間づくりを進めます。
- イ 秋葉山の眺望や松並木などの景観資源を活用し、親しみがあり愛着と魅力を感じる街並みを形成していきます。
- ウ 広域からの外来者のある、観光や伝統行事などの拠点にふさわしい景観づくりを進めます。



景観保護の方針

- ・松並木及び「街並み保存地区」の植栽を保全し、街並みや秋葉山の景観との調和を図ります。
- ・建築物の壁面、広告物や看板の色彩については、原色などの目立つものを避け、伝統的建築物との調和を図ります。
- ・個人住宅を含めて、建物外面の色調を落ち着いたものとし、壁面の位置や軒高をそろえます。
- ・一般及び観光客用の駐車場や街路のごみ箱、ごみ収集時のごみ置き場は目立たないように工夫します。
- ・「街並み保存地区」は自動車の出入りを制限し、ゆとりある歩行空間を確保します。
- ・議会等との協議を通して、景観を保護するために必要な予算があれば、その計上を検討していきます。

モデル問題例 1

姉「住民対象の説明会から帰ってきた父に」お疲れさま…説明会、どうだった？」

父「ああ、これ、資料だよ。〔資料B〕を姉に渡す…最近、うちの周りもそうだけど、空き家が多くなってきたよね。この間も、少し向こうの空き家の裏口の力ギが壊されたりしたそうだけど、このままだと治安の面が不安だ。それが取り壊されても、その跡地に『街並み保存地区』っていう名前にふさわしくない建物が建てられてしまうかもしれない。地元の企業がまちづくりの提案をしているという話も出てくるしね。そこで市としては、ここでガイドラインを示して景観を守ることで、この一帯を観光資源にしていきたいという計画らしいね。つまり、『石二鳥を狙った訳さ。』」

姉「なるほどね。それで、うちの周りはどうなるの？」

父「うちの前の道路、『ゆとり』ある歩行空間を確保』っていう話だったから、電柱を移動させるか、電線を埋設するかなるんだらうけど、狭いままだってことには変わりないな。」

姉「我が家の外壁を塗り直そうかって時は、その費用は市が負担してくれるの？」

父「多分、それはないんじゃないか。市の予算は、公共の環境整備に使うだろう。」

姉「あれ、そうなの？…と、ここでお父さんは、このガイドラインの導入について、どう思ってるの？」

父「私は反対だよ。住民の負担が大きすぎるね。外壁の塗装も建物の改築も、すべて周辺の景観に配慮した上で、適切な対応を自己負担で考えなければいけない。これじゃあ、引越した方が気が楽だ。かえって空き家を増やすだけだと思っよ。」

姉「でも、今のままだと、ここはどんどん衰退していくだけだよな？ 住民がいなくなると、この街の文化や歴史の一部が途絶えてしまうよね。この辺って、道路も狭いし、家も古いけど、この街並み、私は結構好きだな。だから、マイナスだと思ってることも、逆にこの街の魅力にしたら、観光客にPRすることもできるんじゃないかな。街並みを整備して、地域の魅力づくりに成功したら、ここから出て行く人が少なくなって、空き家も減るよ。そうしたら、この街は守られるよね。」

父「それは希望的な推測だし、感情論に過ぎないね。実際問題として、ガイドラインの通り、古い街並みを残すとしたら、家を改築する時に、デザイン料にせよ材料費にせよ、通常以上の自己負担が必要になる。これじゃ、地域住民の同意は得られないよ。」

姉「私は、ある程度の住民の自己負担は必要だと思う。こういう地域づくりって、行政に任せっぱなしにしたままで、私たち地域住民は受け身でいいのかな。それに、ガイドラインには広告や看板の色彩のことも書いてあるけど、これからは、自然環境も含めて、そうした住環境も大事にしないとけないと思うの。確かに色々と制約があるし、お金もかかるけど、『地域を守り、地域の魅力を作っていくのは、他でもない私たち自身なんだ』っていう意識を持って、私たちの生まれ育ったこの街を守っていくためには、ある程度の自己負担も必要だよ。」

父「私も、すべて行政に任せちゃえばいいとは思ってないよ。だけど、個人の家や庭に手を入れることは、本質的にその人の自由意志だし、住民の利便性を考えた道路整備は間違いない行政の仕事だ。ところがガイドラインに従うと、古い家と思うように直すこともできないし、狭い道もそのまま使うという不自由を、住民に強いることになる。現実的に発生する問題から目をそらして、感情論で地域づくりを語っても、そんなものは絵に描いた餅に過ぎないよ。」

姉「じゃあ、このまま何もなくていいの？ 街がさびれていく様子を、ただ黙って見てるってこと？」

モデル問題例 1

問 1 会話文中の傍線部「一石二鳥」とは、この場合街並み保存地区が何によってどうなることを指すか、「一石」と「二鳥」の内容がわかるように四〇字以内で答えよ（ただし、句読点を含む）。

問 2 ある会社が、「街並み保存地区」の活性化に向けた提案書を城見市に提出した。次の文章はその【提案書の要旨】である。これに対して、城見市は、ガイドラインに従って計画の一部を修正するよう、その会社に求めた。どの部分をどのように修正することを求めたと考えられるか、三十五字以内で述べよ（ただし、句読点を含む）。

【提案書の要旨】
 複数の空き家が連続して並んでいる場所を再利用した商業施設を作りたい。古くて味わいのある民家を最大限活用したカフェ、洋服屋、本屋、雑貨屋、美容院などを総合的にプロデュースすることで、「一度は行ってみたい」まちづくりに貢献したい。初めて訪れる観光客にも親切なように、目につきやすい色の看板を数多く配置し、行きたい店をすぐに探せる配慮をする。また、住民にも利便性の高い店の誘致を進める。

問 3 会話文から読み取ることができ、父と姉の「景観保護ガイドライン」の導入についての議論の対立点を、「〃の是非。」という文末で終わるように二〇字以内で述べよ（ただし、読点を含む）。

問 4 父と姉の会話を聞いて、改めてガイドラインを読んだかおるさんは、姉に賛成する立場で姉の意見を補うことにした。かおるさんほどのような意見を述べたと考えられるか、次の条件に従って述べよ（ただし、句読点を含む）。

条件 1 全体を二文でまとめ、合計八〇字以上、一二〇字以内で述べること。なお、会話体にしなくてよい。

条件 2 一文目に、「ガイドラインの基本的な考え方」と、姉の意見が一致している点を簡潔に示すこと。

条件 3 二文目に、「経済的負担」を軽減する方法について述べること。

条件 4 条件 2・条件 3 について、それぞれの根拠となる記述を【資料 B】「城見市『街並み保存地区』景観保護ガイドラインのあらまし」から引用し、その部分を「」で示すこと。なお、文中では「ガイドライン」と省略してよい。

< 正答例 >

問 1 景観を守るガイドラインによって、治安が維持され観光資源として活用されること。(38字)

問 2 看板は目につきやすい色ではなく、伝統的建築物と調和した色彩にすること。(35字)

問 3 例① 個人の自由を制限し、自己負担を求めること(の是非。)(20字)

例② 自己負担や制限を受け入れて進めること(の是非。)(18字)

問 4 姉の意見は、「全ての人々」が「意識の向上」を図り、「景観を将来の世代に引き継ぐ」というガイドラインの考え方と一致している。また、方針に「景観を保護するために必要な予算があれば、その計上を検討」とあるので、補助が受けられる可能性がある。(119字)

モデル問題例4

[1] 花子さんと太郎さんは、次の記事を読みながら会話をしている。

＝公園整備計画＝ 広場の大きさどうする？

〇〇市の旧県営野球場跡地に整備される県営緑地公園（仮称）の整備内容について、緑地公園計画推進委員会は15日、公園のメイン広場に地元が生んだ武将△△△△の銅像を建てる案を発表した。県民への憩いの場を提供するとともに、観光客の誘致にも力を入れたい考え。

ある委員は、「銅像の設置にあたっては、銅像と台座の高さはどの程度がよいのか、観光客にとって銅像を最も見やすくするためには、メイン広場の広さはどのくらいあればよいのか、などについて、委員の間でも様々な意見があるため、今後、実寸大の模型などを使って検討したい」と話した。



(写真はイメージ)

花子：銅像と台座の高さや、広場の大きさを決めるのも難しそうね。

太郎：でも、近づけば大きく見えて、遠ざかれば小さく見えるというだけでしょ。

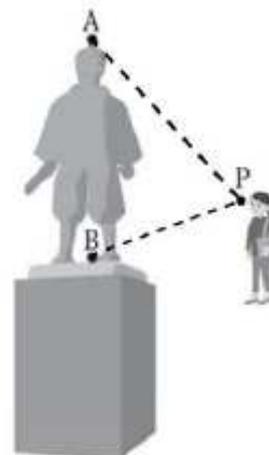
花子：写真を撮るとき、像からどのくらいの距離で撮れば、銅像を見込む角を大きくできるかしら。

見込む角とは、右図のように、銅像の上端 A と下端 B と見る人の目の位置 P によってできる $\angle APB$ のことである。

二人は、銅像を見込む角について、次の二つのことを仮定して考えることにした。

- ・地面は水平であり、直線 AB は地面に対して垂直である。
- ・どの位置からも常に銅像全体は見える。

次の各問いに答えよ。なお、必要に応じて 10 ページの三角比の表を用いてもよい。



モデル問題例 4

- (1) 銅像の真正面に立ち、銅像の真下から 12 m 離れた位置から、高さ 1.5 m の台座に乗せた高さ 4 m の銅像を見る。このとき、目の高さが 1.5 m の花子さんの銅像を見込む角として最も近いものを、次の ① ~ ⑨ のうちから一つ選べ。

- ① 4° ② 6° ③ 8° ④ 10° ⑤ 12°
 ⑥ 14° ⑦ 16° ⑧ 18° ⑨ 20° ⑩ 22°

- (2) 銅像に近づいたり離れたりとすると、見込む角の大きさは変化する。見込む角が最大になるときの、見る人の足元の位置を「ベストスポット」とよぶこととする。この「ベストスポット」について、太郎さんは次のように考えた。

【太郎さんの考え】

3 点 A, B, P を通る円の半径を R とすると、AB の長さは常に一定であることから、 $\angle APB$ が鋭角ならば、 $\angle APB$ が最大となるのは、 R が最小のときである。

- (i) $\angle APB$ が鋭角であることを確かめる方法を、 $\triangle APB$ の 3 辺の長さ AB, AP, BP についての式を用いて説明せよ。解答は、解答欄 に記述せよ。

画像貼り付けなので読みにくいですね…。

これらが文科省が発表した「記述式問題」の例題です。けっこう難問です。時間も相当掛かりそうです。

また、国語と数学において、記述式問題が追加されることで試験時間が延長される予定です。

- ・国語は 20 分延長予定。
- ・数学は 10 分延長予定。

その他の科目の試験時間延長は今のところ具体的な予定はありませんが、今後記述式問題が他の科目でも導入が予定されており、それらの科目の時間延長があるかも知れません。

詳細は「大学入試センター」HP をご参照下さい。